

◆大崎町教職員等ミニバレーボール大会を開催しました

5月7日(土)に大崎町の小・中学校教職員等ミニバレーボール大会が大崎町総合体育館で開催され、多くの教職員が汗を流しました。

各学校によるチーム戦で、予選と決勝トーナメントが行われ、校長・教頭・教職員の垣根を越えた試合が繰り広げられました。

試合中は、点を入れるたびに歓声や応援の音が響き渡り、白熱した試合になりました。

試合は、1位大丸小学校、2位野方小学校、3位菱田小学校という結果で終わりました。この大会によって、学校内の結束力もより強くなり、小中学校の職員同士の交流も深めることができました。

また、冬にはスポーツレクリエーション大会を予定しています。



まびの窓おえの庭 『未来ある子どもたちのために』

No.37 富士屋製菓有限会社 小野まゆみ

昨年、大崎中学校の朝礼で生徒さん達に、『誰の人生でもないあなたの人生です』という題目で話をさせていただきました。夢を持ってください、夢は勇気と大きなパワーを与えてくれますと、私が三人の娘たちを育てている中で、気付かされたことを話しました。

私は縁ありまして大崎の地に嫁ぎ、主人のおかげでいろいろな勉強をさせていただきました。雇用される側から雇用する側になり、社員の働き具合を見ておられますと、それぞれ性格の違いもありますが、育ってきた環境の影響は大きいのではないかと日々感じております。

以前娘が、「こんな世の中にしたのは大人でしょう。」「ゆとり教育を作ったのは大人でしょう。」と言ったことがありました。確かに、便利な世の中、物にあふれた世の中にしたのは大人です。勉強もいろいろな部分がカットされていたのも確かです。「これからの未来の子どもたちのために、理想の世の中に変えていけるのは、あなたたち子どもなのだよ。」と話しました。

私は残された人生の中で、子どもたちのために何ができるのだろうと考えます。子どもたちが夢を持てる、希望を持てる世の中にするには、何が必要なのだろうかと考えます。まずは、私自身が夢を持ち、輝いていることが大切かと思えます。古い工場を建て直すこと、ここで働きたいと、もっともっと思ってもらえるような会社にする事、そして会社を継ぎたいと思ってもらえるようにすることが私の夢です。

親、学校、地域が一体となり、誰もが将来に希望を抱いて学べ、自信を取り戻せる環境さえ与えてあげれば、子どもは見違えるように輝いていくのではないのでしょうか。未来ある子どもたちのために、大人自身が夢や希望を持ち続けていくことが大切なのではないのでしょうか。